

周波数の国際協調利用促進事業 平成 30 年度 採択評価結果

案件名		実施期間	評価会での主なコメント	評価点
気象・防災プラットフォーム技術の国際協調利用促進	津波・海洋レーダーシステム	H30-H31	<ul style="list-style-type: none"> ・独自アルゴリズムを利用した精度向上、デジタル処理による信号処理制度向上等、成果を高める独自の提案が為されている。 ・ノイズの状況調査や分類、観測精度の向上に対する工夫がみられる。 ・適切なステップを踏まえていると思われる。 ・BMKG と日本総務省との間の合意に基づいて BMKG と連携している。既にコミュニケーションチャンネルを構築している。 ・津波データによるシミュレーションが説得力を持つような説明が十分に為される必要がある。 ・対象となるインドネシアは津波の被害が大きい国であり、本調査はその状況と課題に対して十分認識していると言える。 	4.5
高度道路交通システムの通信技術の国際協調利用促進	V2X (Vehicle-to-X: 車車間通信、路車間通信等) 技術を用いた安全運転支援システム	H30-H32	<ul style="list-style-type: none"> ・国内業界との協力に関する検討や、アジアで受け入れられる価格帯、費用の調査等、費用負担の面でも独創性がみられる。 ・統計データのヒートマップ化等、可視化技術の応用や、デジタルツールの活用による効率化等、工夫がみられる内容であった。 ・機必要かつ十分な項目であり、過不足のない内容となっている。能確認、効果確認、標準化と、ステップを踏んだ実施計画であり、効率的であるという印象を受けた。 ・よく練られた計画であると評価できる。 ・V2X が効果的・効率的であると認めてもらえるようなアプリケーションの発掘・実施が本事業のポイントとなるのではないかと。 	4.4